

輸入粗飼料の情勢

全 酪 連
購買生産指導部
購買推進課

北米コンテナ船情勢

北米西海岸航路は主要の乗継航路を含め11月上旬以降、出荷が混雑してきています。日本向け直行便を運航している一部の船会社では、年末年始向けの貨物増加で船腹が満杯となりスケジュールの遅れが発生し、乗継航路がある船会社も玉突きの影響で接続船に乗せることができず遅れが発生しています。

また、輸出業者についても11月末のサンクスギビングデー（感謝祭）前に増加した貨物を捌いており、米国内の港湾も混雑しています。太平洋北西部（PNW）地域では輸出業者の工場からシアトル/タコマ港までトラックで1日2往復できるところが、港湾混雑の影響で1往復しかできず、出荷の稼働率も低下しています。

年末年始の需要が落ち着く頃には、中国の旧正月の影響で貨物の流通量が一時的に低下し、スケジュール調整のために本船を間引き運転する可能性もあり、海運状況には引き続き注視が必要です。

ビートパルプ

【米国】

23—24年産ビートの収穫作業は概ね終了し、来春まで製糖作業およびビートパルプペレットの生産が続く見込みです。主産地である中西部では播種の遅延により生産量の減少が懸念されていましたが、その後天候に恵まれたこともあり例年以上の豊作となっています。

米国産ビートの需要については先月に引き続き変化はありませんが、23年産の上級品アルファルファの高値取引や大豆粕価格の上昇もあり、直近の価格は堅調に推移しています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは23年産の収穫は終了しています。23年産の収穫を振り返ると、1番刈は春先の冷涼な気候により2～3週間遅れて収穫作業が開始されましたが、カナダからの山火事による煙がコロンビアベースンに流入したこ

とで乾燥に時間が掛かり、一部の地域では降雨被害もあったことから産地全体で上級品の発生は限定的となりました。2 番刈については、天候に恵まれ収穫スケジュールの遅れを取り戻したことで多くの圃場では色目が良い上級品の発生が中心となりました。3 番刈・4 番刈についてはカナダで山火事が再び発生し、その煙がコロンビアベースンに流入したことで乾燥に時間が掛かり、一部の地域では降雨被害もあったことから産地全体で上級品の発生は限定的となりました。産地相場については年間を通して上級品の発生が限られたため、米国内酪農家や他国向け需要も上昇しており、23 年産の開始時と比較しても堅調に推移しています。

オレゴン州

主産地であるオレゴン州南部クラマスフォールズでは23 年産の生産を終えています。産地ではワシントン州同様に生育期の気候が冷涼で生育が遅かったことに加え、収穫開始直前に降雨があったため、例年より1 週間程度遅れた6 月中旬以降から1 番刈の収穫が開始されました。作況については天候の回復を待って収穫した影響で、刈取り適期を逃し生育が進んだ圃場もあり、成分値の低下が懸念されましたが、例年同様、上級品中心の発生となりました。2 番刈については、1 番刈の収穫時期が例年より遅くなったことから1 番刈で刈り取れなかった茎が残った圃場もあり、例年よりも色目の鮮やかな品質は限定的となりました。3 番刈は降雨の影響で天候の安定を待って収穫された圃場では適期での収穫を行うことができず、刈遅れや雨当たり品が多く発生しました。23 年産は1 番刈の収穫作業の遅れをシーズン終盤まで解消できなかったため、4 番刈の収穫を断念する圃場も多く見られました。産地相場は1 番刈以降、近隣州の上級品不足の影響で国内向けの馬糧向けや中国や中東からの引き合いが増加していることから堅調に推移しています。

同州中部クリスマスバレーでも23 年産の生産を終えています。1 番刈は6 月中旬より収穫作業を開始しましたが、収穫作業中に降雨被害があり上級品の発生は限定的となりました。2 番刈は一部の圃場では降雨被害が出ているものの、高成分の良品も発生しました。3 番刈は降雨被害により上級品の発生は限定的となり、米国内酪農家からの需要も高まり産地相場は1 番刈・2 番刈よりも堅調に推移しています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは9 番刈の収穫が行われています。夏の暑さが本格化される前に収穫された1 番刈・2 番刈は好天に恵まれたこともあり、成分が高い上級品中心の発生となりました。夏季に入ってから気温上昇に伴い成分値が下がり始めたことで、茎が細い過乾燥なサマーヘイの発生が中心となり中東や中国からの需要は減退しましたが、現在は冬季期間に入り、気温が下がってきたことか

ら成分値も回復しており需要も増進しています。

ネバダ州

ネバダ州北部ウィナマッカでは23年産の生産を終えています。1番刈では降雨被害を受け、2番刈ではコオロギの異常発生によりアルファルファに被害が出たことから輸出向けには適さない品質が多く発生しました。3番刈でも8月下旬に発生したハリケーン「ヒラリー」や不安定な天候の影響で、良品の発生は限定的となりました。

産地相場については隣接州で良品のアルファルファが不足していることから、米国内酪農家からの引き合いは堅調に推移しています。

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースン及び、エレンズバーグでは23年産の生産を終了しました。23年産は作付面積減少に加え、5月下旬の急激な気温の上昇や、収穫時期に降雨が複数回発生したため、1番刈は中・低級品中心の発生となり、上級品の発生は限定的となりました。23年産の価格が下落したことで不満を抱える生産農家も多く、昨年と比べて半数近くの生産農家が2番刈を行わず相場の良い豆類やとうもろこしといった換金性の優れる作物に転作を進めました。2番刈の品質は上級品の発生が中心となりましたが、1番刈の上級品が限定的なため主に馬糧向けとして高値で取引されています。

24年産の作付面積については、23年産の価格下落により生産農家が他作物に転作することが予想されており、作付面積は減少する見込みです。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは23年産の生産が完了しました。23年産は日本向けの出荷が減少し、産地の多くの輸出業者は22年産の旧穀在庫を抱えていたこともあり、例年より遅い買付進捗となりました。1番刈は上級品及び中級品の発生が中心となり、色抜け品の発生は生育期の湿度が低かったこともあり限定的となりました。2番刈は8月下旬に発生したハリケーン「ヒラリー」に加え、9月上旬にも産地に降雨が発生し大きな雨当たり被害があったため、良品の発生は限定的となりました。

作付面積は前年に比べ減少したものの日本の需要に対しては輸出業者も旧穀在庫を抱えているため供給力には懸念はありません。今期の産地相場低迷により来期は今年以上に作付面積が減少する可能性もあるため、今後の相場の動向については注視が必要です。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは23年産の生産を終えています。昨年は高騰したアルファルファのタンパク源代替として、米国内酪農家からの引き合いが強く、内需が産地相場を牽引したことで大幅な値上がりとなりましたが、23年産ではミード湖の水位上昇による水不足の解消、干ばつ状況も緩和されたため相場価格は軟調に推移しました。品質については8月下旬に発生したハリケーン「ヒラリー」や降雨の影響で刈遅れ品も一部発生しましたが、23年産全体を通しては葉量が多く柔らかな良品の発生が中心となりました。

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは23年産の生産を終えています。8月と9月の降雨により中級品の発生が中心となりましたが、米国内酪農家や輸出向け需要は安定しています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区、中部クレモナ地区ともに23年産の生産を終えています。南部レスブリッジ地区1番刈の品質は収穫期の降雨も少なく天候に恵まれたことから上級品から中級品中心の発生となりました。中部クレモナ地区の1番刈は山火事の煙による日照不足や乾燥に時間が掛かったことや干ばつにより上級品の発生は限定的で中級品中心の発生となりました。産地では例年よりも暖かく乾燥した気候が続いており出荷の遅れは目立っていませんが、今後、降雪によりスケジュールの遅れも発生する可能性があるため注視が必要です。

豪州産オーツヘイ

東豪州：

東豪州の収穫作業は10月下旬から行われ、11月下旬で終了しました。昨年は収穫期に「ラニーニャ現象」及び「負のインド洋ダイポールモード」の影響で記録的な大雨に見舞われたため、低級品中心の発生となり生産量も大きく減少しましたが、23年産については生育から収穫までの期間で降雨も少なく天候に恵まれたことで雨当たり被害もほとんどなく、上級品中心の発生となり収量も増加しています。

南豪州：

南豪州の収穫作業は11月下旬で終了しました。南豪州では11月上旬に降雨がありましたが、生育から収穫を通して天候に恵まれたことから上級品の発生が中心となっています。収量については一部の地域で干ばつの影響があり例年よりも減少してい

ます。

西豪州：

西豪州の収穫作業は11月下旬で終了しました。乾燥した気候により単収の減少が懸念されていましたが、収穫前にまとまった降雨があり見込みより収量は回復しています。品質については天候に恵まれたこともあり上・中級品の発生が中心となっています。



左：23年産オーツハイ上級品

右：23年産オーツハイ中級品

（12月上旬：西豪州にて撮影）

以上